

2024.04



ぎふの木ネット協議会

ぎふの木ネット協議会が創設されて、早5年ほどが経過いたしました。設立直後にコロナ禍が始まり、ウッドショック、ウクライナ問題と続き、今までにない大きなグローバル的変化が生じています。



ぎふの木ネット協議会会長より 今後の展望をお伝えします

<ぎふの木ネット 未来予想図>

ドリカムの歌に、未来予想図という曲があります。まずそのタイトルに惹かれ、今のスポティファイのアルバムの中に入っています。

国内で大ヒットした曲ですが、ふと、我々木材・住宅業界あるいは岐阜の未来予想はどのようになるのか大変気になります。

私の年齢からしても30年先の予想はできませんが、5年後くらいの予想は可能かと…。

自分勝手流に思い浮かんだイメージをまとめたいと思います。

<2030年〇月 国産材比率50%>



ウッドショックから国産材への流れが加速。LSC(ローカルサプライチェーン)としてぎふの木ネットは県下2番目に登録されたことを皮切りに県下では10ヶ所位のサプライチェーンが設立された。その中で当協議会は圧倒的規模を誇り、先導的役割を果たす。

外材については頻発する山火事や港湾ストライキ、そして長く続く円安により国産材の優位性が県民にも浸透した。CO₂削減の視点から、国産材への流れが経済界や知識層を中心に加速し、毎年2%位ずつ国産材比率が上昇。

<温室効果ガス

なんと48%ダウン達成>

2022年に13年比温室効果ガス48%削減の目標が出された時、誰もが無理と思った。しかし県民の意識変化や各産業別の削減計画により2030年に全国に先駆け達成。その陰でぎふの木ネットの省エネ資材パッケージや配送時のムダを改善することなど大きく貢献した。

<花粉症が減った>

最近花粉症で悩んでいる人が一時に比べ大きく減った。平成5年ごろ、国レベルで大きく取り上げられて林野庁が中心となり対策を講じた。都市部近郊の杉材の集中伐採や杉の需要拡大が効果的であった。

また花粉の少ない苗木の生産拡大が行われたことと舌下免疫療法の進化や拡大が功を奏した。

杉需要開拓の一環としてぎふの木ネットでも構造材パッケージ(杉・桧)が50%を超えるようになった。また合わせ梁等の新商品の開発も進み、性能とコストの両立が実現した。



ぎふの木ネット協議会



<ぎふの木ネット協議会のビジョンに賛同者大きく増え、県下有数の業界団体に>

当初の目的は「岐阜の木で健康で快適な住まい空間の創造」。そして5つのテーマ「山を守る」「人を守る」「技術を守る」「地域経済の活性化」「ITを使い業界にイノベーションを」。こうしたビジョンがその後のDX、GXにつながる。さらにその後、脱炭素化や空き家問題等の社会課題に取り組み、業界の枠組みを大きく越え異業種とのタイアップも進み、会員数を大きく増やす。

令和5年当時の230団体ほどが500団体を超え、地域経済の活性化に大きく貢献 です。

<地域ビルダーが復活>

当初の目的は「岐阜の木で健康で快適な住まい空間の創造」。そして5つのテーマ「山を守る」「人を守る」「技術を守る」「地域経済の活性化」「ITを使い業界にイノベーションを」。こうしたビジョンがその後のDX、GXにつながる。さらにその後、脱炭素化や空き家問題等の社会課題に取り組み、業界の枠組みを大きく越え異業種とのタイアップも進み、会員数を大きく増やす。

令和5年当時の230団体ほどが500団体を超え、地域経済の活性化に大きく貢献 です。



<官学連携で県下最大の県産材サプライチェーンに>

令和5年に設立された県産材サプライチェーンは、大きく飛躍を遂げ岐阜のモデルケースとなった。

需要側の情報・要望を製材・山側へ伝えるデマンドチェーンとして進化し、年300棟分(6,000㎡)の県産材利用の住宅供給が可能に。

また、木材学会や森林文化アカデミーとの連携により、サイエンスによる木と健康との関連の証明や耐震省エネ住宅モデルを実現。更に 災害時の仮設住宅等の対応策協定に基き構築し必要とされる団体として成長する。

<MOKUTOWNにAI搭載>

令和6年にMOKUTOWNにAIが搭載され、リノベや非住宅への窓口も追加されたことでより多くの消費者へ訴求ができるようになった。また、不動産や補助金情報のみならず各メーカーの最新モデルの情報もワンストップで収集できる県下No.1のプラットフォームになった。

<岐阜の街に活力が>

1社ではできないことが産官学や多くの会社や団体の連携により実現できるようになり、岐阜の街や業界に活力が出てきた。「木のチカラで脱炭素化と地方創生」何とかできそうな気になってきた。



<水平連携で県産品新ビジネスモデル>

さらに県産材利用でアーティスティックな家具の開発、リーズナブル価格でのセット販売が可能に。また、鉄・タイル・和紙・石材等の異素材とのマッチングにより高付加価値新商品を実現。

<ぎふの木ネットに専門部会が多数誕生し各社のビジネスに貢献>

令和5年の年末にグリーンリノベ部会が誕生し、社会問題化する空き家問題へも切り込み、行政、金融機関やメディアも巻き込みプロジェクトチームとしてスタート。その後非住宅部会を設立し、非住宅資材パッケージ等を通しリーズナブルかつ高性能な非住宅供給が可能となった。更に分譲部会では、協議会で分譲地を用意し各社が低リスクで分譲住宅を建設することができるようになった。

以上 5年~8年位先にこうなって欲しいと思う希望も込め、ぎふの木ネット(協)に関係する未来予想図を描いてみました。

皆様、輝かしい未来に向けぜひ一緒に



ぎふの木ネット協議会



能登半島地震に思う事

<29年前のデジャブ>

本年1月1日まさに元日の午後4時10分に能登半島地震が起きました。マグニチュード7.6、死者240人超、全壊戸数8,800戸、日を追うごとに被害の甚大さが拡大して参りました。

私自身今回の地震についての報道がされる中で、ビニールハウスの中で生活をしてみえる被災者のニュースに接し大きな衝撃を受けました。

まさに今から29年ほど前の1995年1月17日の早朝に起きた阪神淡路大震災の恐怖に満ちた映像が脳裏をよぎりました。当時、マンションの1Fに住んでいた私は大きな揺れに目を覚まし、咄嗟に家族の安全を考えました。死者6,400名超、全・半壊戸数なんと25万戸超、はじめて経験した大災害が今回の能登半島地震の際にまさしくデジャブのように蘇りました。

時代が進化し、耐震化も進んだはずなのに何故？

近年の多くの震災から学んだ事は殆どなかったのか？

自然の猛威の前で人間はかようにして無力なのか？

現在でもこの思いが私の頭の中を大きく支配しております。



<被害の状況>

阪神淡路大震災と類似性が高いのは亡くなられた方の原因です。阪神淡路では約8割近くが圧死で亡くなられており今回も、圧死・窒息・凍死・外傷ショック等含まれますと90%以上となり、建物の倒壊が大きな要因となっています。



また倒壊の原因として挙げられるのが、古い木造住宅を中心に新耐震基準を満たしていない住宅が約5割を占めていたという事です。過疎地で高齢者が多い地域に共通する現象です。

<しかし新耐震の住まいの倒壊も>

古い住宅のみならず大きな耐震基準をクリアしている筈の7F建てビルの倒壊も見られました。

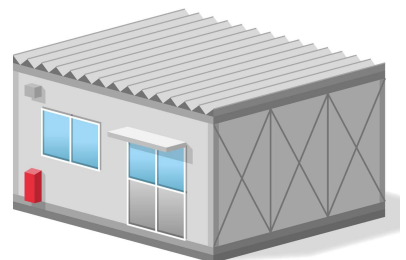
why?単純な疑問です。

どうも下部構造に問題があり杭の引き抜けの痕跡があったようです。また珠州市でも倒壊した住宅の約半数が、1981年度の新耐震基準を満たしていたようです。なぜ震度7でも対応できる筈の住宅が倒壊に至ったのか？

<仮設住宅と水問題>

地震後2ヶ月以上経っても1万1千人余りの方が、避難所や親戚等に身を寄せられており仮設住宅に対する申請が8,000戸ほどに対し年度末に4,600戸着工となりますが、この分の完成も夏ごろしか目処が立っていません。すべての完成には年内くらいかかるのではと思われます。スピード感に欠けると感じるのは私だけでしょうか？

また今回の地震で特にその脆弱性が露呈したのは水問題でした。人はまず水が無ければ生きていけません。震災後3週間経っても5万戸位が断水状況となっていました。



<群発する地震ダメージの蓄積>

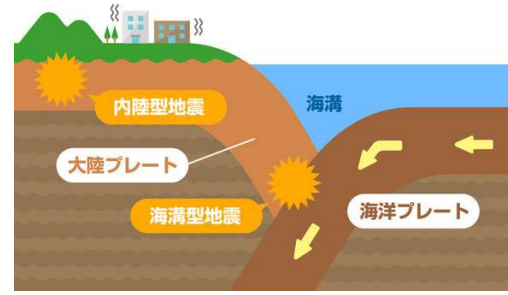
その背景をみていくと当地区に2020年末ぐらいから群発地震が多く起きている点が原因として考えられます。

直近3年で震度1以上が500回以上、5弱以上が5回起こっています。特に2023年5月には珠州エリアで震度6強の地震が起こり300棟程が全半壊しております。

現行の耐震基準に近い2,000年以降の住まいについては大きな被害は少ないようですが、繰り返しの地震が何回も起こりますと釘やボルトの緩みや躯体の損傷が生じ大きな揺れで一気に倒壊に至ったと思われます。

<次の地震は>

当地岐阜に於いては近年大きな地震災害は起こっていませんが、今から約130年ほど前濃尾震災が起こっています。その時のマグニチュードは8.0です。阪神淡路大震災が7.2、関東大震災で7.9。いかに大きな地震であったか想像でき、この地震では7,000人以上が亡くなり全壊焼失家屋が14万戸以上に達しています。その時の根尾谷断層では6mのズレが生じました。つぎ起こる可能性として南海トラフ地震が予測されていますがこの地震での岐阜市での災害予想として震度6強、全壊11,000戸、死者300~400人と予想されております。また南海トラフ地震は、1,600年以降ほぼ100年おきに起こっています。直近では終戦直後1946年の昭和南海地震でやはり1,300人位が亡くなっています。その後80年近く経っており、確率的には高まってきていると感じます。



<しからは何をすべきか>

私達は何をすべきか？またそれが社会の為にもなりビジネスとしても成り立つ方向性を見つける必要があります。

① 仮設住宅の開発

現状を参考にするとスピード感が大きな問題となっています。
平常時はどの様に管理していくのかどのタイプの仮設住宅が求められるのか
緊急用の仮設住宅
or
中長期使用を想定した仮設住宅
販売なのかリースなのか、いずれにしても行政側との調整が必要となります。

② 耐震リノベ・空き家対策

耐震リノベで、どこまで耐震等級を上げる事ができるのか、まずインスペクション体制そして耐震メニューの整備が必要です。これに対しては ぎふの木ネット グリーンリノベ部会にて今後対応して参ります。

③ 災害に強い住まい

省エネ仕様で且つ災害に強い住まいの開発に協議会として全力で取り組みます。
今回の様に群発性の地震にも耐えられる様、耐震のみならず制震の機能も必要とされます。
また電気や水の確保の為、太陽光発電や蓄電池あるいはV2H(EVと住まいの連携)そして 雨水の利用等も考えなければならないかと存じます。

<シェルター機能>

そして万が一にも倒壊した場合でも、人の命だけは助かる部分的絶対強化のシェルター機能を持つ空間の確保は必要不可欠かと存じます。



災害はいずれ起こる事を想定して協議会として準備を進めたいと思います。

ぎふの木ネット(協)では設計事務所、ビルダーだけでなく解体業者や行政、銀行も加入されています。

今後いずれ起こる災害(地震、台風、大水等)に対しての対応策も準備したいと考えます。

ぎふの木を利用して健康で安全な住まい空間を創造する。

この理念を決して忘れないように……………。



ぎふの木ネット協議会



5月8日(水) 第2回グリーンリノベ部会を開催します

第1回グリーンリノベ部会は2月7日(水)にOKBふれあい会館にて、開催しました。(写真右:第1回開催風景)会は各工務店さんからも質問をいただき、大変活気のある会が開催できました。



日時: 5月8日(水) 14:00 ~ 16:00

会場: 板蔵ファクトリー株式会社 4階
〒501-0224 岐阜県瑞穂市稲里88-1

中古住宅・空き家対策について協議会としての対応をシステム化して行く会です。

社会問題と一緒に取り組みましょう!

今後 8月・10月にも分科会を開催する予定です。

5月23日(木)・24日(金) 非住宅提案イベント

非住宅提案イベント「非住宅建築と木質内装展」を開催します
SDGs・カーボンニュートラルを叶えるこれからの木質空間
を提案します。

日時: 5月23日(木)・24日(金)
14:00 ~ 16:00

会場: 板蔵ファクトリー株式会社 4階
〒501-0224 岐阜県瑞穂市稲里88-1

2日間にわたり延べ8社がセミナーを行うほか、専用ブースを
設けメーカー担当者が商品説明をさせていただきます。

DAIKEN 大建工業

NICHIHA ニチハ

DAIKIN ダイキン工業

旭ファイバーグラス 旭ファイバーグラス株式会社

あんしん 住宅あんしん保証

板蔵ファクトリー

江間忠ウッドベース

旭商事



お申込みURL ⇒

6月5日(水) ぎふの木ネット ゴルフコンペ開催

ぎふの木ネット ゴルフコンペを開催します

青葉若葉が茂りはじめ、木々の緑が色濃くなる6月
ぎふの木ネットでゴルフコンペを開催いたします。

6月5日(水) 8時28分スタート
(アウトイン同時スタート) 10組を予定

場所: 岐阜カンツリー倶楽部

出場会費: 5,000円

満員になり次第締め切らせて頂きます。

このチャンスにぜひご参加ください。



応募締切: 4月25日(木)

ぎふの木ネット協議会会員へ 特別なご案内

ぎふの木ネット協議会会員さまへ、シーシーエヌ株式会社さまからお得な特別プランのご案内です。

一般には掲示のないプランで5年間最安値と伺っております。

価格情報

サービス	1年目	毎月 2,640円
	2~5年目	毎月 4,290円
	6年目以降	毎月 5,940円
※ 価格はすべて税込み		

その他、

レンタル機器 無料(2台)
キャッシュバック 1万円 などの特典がございます。

詳しくは協議会までお問い合わせください

TEL:058-271-3111

令和6年 ぎふの木ネット協議会 イベント予定

ぎふの木ネット協議会の令和6年度行事予定についてお知らせいたします。

5月 8日(水) 14:00 ~ 16:00 グリーンリノベ部会

会場:板蔵ファクトリー 4階

7月12日(金) 午後

ぎふの木ネット協議会イベント

11月29日(金) 午後

ぎふの木ネット協議会イベント

※2イベント共に 会場:岐阜グランドホテル



詳細につきましてはそれぞれ日付が近くなりましたらまたお伝えいたします。

ぜひとも予定を空けてくださいますようお願いいたします。

会員の方への情報を募集します

会員の皆様へのご報告として、ぎふの木ネット通信を発行し(年6回程度)、協議会の活動報告などをお伝えしていきます。

今後は会員の皆様同士の情報共有を図るために、皆様からの貴重な情報を頂き、その情報を会員の皆様へ周知したいと考えております。

展示会や近況など、お知らせしたい内容がありましたら、ぜひ事務局までご連絡ください。

(チラシなどの印刷物をご提供いただければ、ぎふの木ネット通信の中に同封して会員の皆様にお送りします。)

